



バイブ&
視線入力
マイスター

伊藤史人



AT・AAC
ブロッガー

金森克浩



タブレット
コンシェルジュ

高松崇



特別支援教育
YouTuber

福島勇

未来を開く支援技術セミナー

ATM56 (AT Master 56sai)

支援技術のエキスパート4名によるパネルディスカッション と交流会のタベ

【日時】2018年9月1日(土) 18:00~21:00

【場所】国立オリンピック記念青少年総合センター

【募集人数】100名

【参加費】2000円

【内容】

障害者差別解消法も出来、障害のある人の支援技術活用について関心が高まっています。しかし、本当にそれらの機器が上手に使えているのでしょうか？

ただ単に便利だからと考えて使ったり、本人不在の活用方法がおこってないのでしょうか？そこで、障害のある人の支援技術活用や開発におけるエキスパート4名による、パネルディスカッションと参加者との交流会を開きます。

最新機器の情報や支援機器を活用する上で気をつけなければならないこと、上手に使いこなすための考え方などを参加者皆さんと考えていきます。

【スケジュール】

18:00~18:30 受付

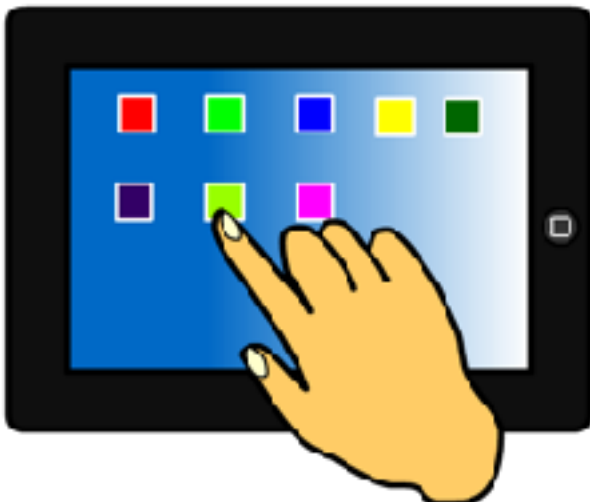
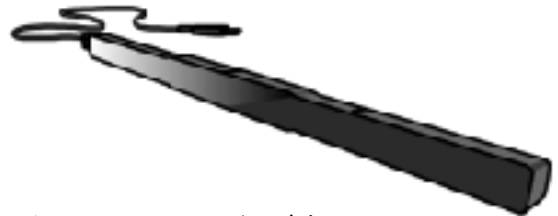
18:30~20:00 パネルディスカッション

20:00~21:00 参加者との交流会

【主催・問い合わせ先】マジカルトイボックス

【申込み】こくちーず より

<https://www.kokuchpro.com/event/atm56/>



伊藤史人

(ito fumihito)



島根大学総合理工学研究科助教
専門は、福祉情報工学。情報機器を活用した神経・筋疾患による重度障害者のコミュニケーション支援研究を行う。ローコスト視線入力装置の普及につとめ、視線入力訓練ソフト「EyeMoT」等を開発。
福祉工学関連の情報をポランの広場 (<http://www.poran.net/>) で不定期に発信している。

金森克浩

(kanamori katuhiro)



日本福祉大学スポーツ科学部教授
マジカルトイボックス事務局長。1986年より東京都の肢体不自由養護学校(現特別支援学校)に22年間勤務、2008年より国立特別支援教育総合研究所総括研究員。2017年より現職。肢体不自由児のATやAACについて長年実践を行っている。kintaのブログ (<http://magicaltoybox.org/kinta/>) で毎日情報発信している。

高松崇

(takamatsu takashi)



NPO法人支援機器普及促進協会 理事長
2006年独立 memis (ミームス) 創業、その後京都市校内LANサポーター・京都市総合育成支援員・京都府委託事業 精神障害OA訓練インストラクター・ICT活用支援員などを経て、2011年スマートフォン・タブレット端末と障害者を繋ぐNPO法人支援機器普及促進協会を設立
タブレットの研修資料をWebで公開している。
ATDS (<http://npo-atds.org/>)

福島勇

(fukushima isam)



福岡市立今津特別支援学校教諭
1989年から福岡市立今津養護学校の勤務を皮切りに特別支援教育に携わり、南福岡養護学校、東福岡養護学校、博多高等学園、南福岡特別支援学校を経て再び今津特別支援学校に。その大部分で自立活動専科を務め、に肢体不自由児へのAACおよびAssistive Technologyのコーディネートを担当。youtubeチャンネルはこちら (<https://www.youtube.com/174iamsam/>)